

## フッ化物洗口南幌小中学校保護者説明会

日時：10月2日（火）、10月4日（木）18：30から

場所：南幌町保健福祉総合センター「あいくる」

南幌小中学校の保護者に対するフッ化物洗口説明会が行われた。

10月2日火曜日は保護者12名教職員2名が出席（学校歯科医：加藤久尚先生）、10月4日木曜日は保護者17名の事前申込みに対し実際の出席は8名だった（学校歯科医：石井真生先生）。

空知管内の中学校では初めてのフッ化物洗口となる。

今後は保護者への実施希望調査及び取りまとめ、12月の真水による練習を経て2月に開始する（現中三生は除かれる）。

両日ともに 高山和己教育長の挨拶、空知総合振興局保健環境局 主任技師 秋野憲一先生、学校歯科医、教育委員会からの合計45分の説明のあと、質疑応答の時間が設けられた。質疑は、家庭でもやりたいがどうすればいいか、もっと早く開始してほしい、中学生にもやってくれるのはありがたい、歯に対する関心が高まってくれると思う、など、好意的な質問や意見で数分で終了し、どんな味ですか、という問いに対し保護者の方に実際に体験してもらった。

### <秋野先生要旨>

これまでは学校の先生方の負担を考慮し、実施している市町村は非常に僅かだったが、北海道の現状から8020推進条例が制定され、今回のような流れになった。空知は北海道の中でも悪い方の地域であり、石井先生のデータからは南幌中学校の中2、中3で増える傾向が確認されている。

厚労省によるガイドラインもでき現在は約90万人が実施、これは全体の1割に相当する。

歯は生えはじめが弱くむし歯の予防が極めて大事な時期である。予防方法としてはフッ化物洗口が、むし歯の数を半分にすくくらいの効果が期待でき、最良である。フッ化物洗口を行うと耐酸性が向上し、歯ブラシで磨けない所にも届くことが期待できる。むかわ町の実態調査でも明らかに効果が認められる。また、30歳代になってもフッ化物洗口を経験したグループはむし歯が少ない。

最後に安全性について。フッ素は人体では13番目に多い元素で、食べ物にも沢山含まれている安全な元素である。フッ化物洗口で使う量は0.2mgだが、これはハンバーグ1個に含まれる量と同じ。いかなる物質も量は適正でないといけない。7人分を一気に吞でしまうと下痢、嘔吐が起きるかもしれない。インターネットで悪影響が示されているが、科学的根拠がない個人的意見ばかりである。インフォームド・コンセント、選択の自由についても考慮して実施している。

### <石井先生要旨>

何故中学校で必要かという、14歳くらいではえる第2大臼歯をはじめとして、はえかわっ

たばかりの幼弱な永久歯を守るためである。また、そろそろ親の手から離れたり、受験を控えて不規則になりがちな、むし歯ができやすい年頃であることを考慮して、この時期の子供たちに行うのは適切と考える。

<教育委員会から>

今後のスケジュール、手順、緊急時の対応について説明があった。

<質疑応答内容>

どんな味ですか？-----ほとんど無味無臭です（最後に体験してもらった）

家庭でもできますか？-----保険外となりますが歯科医院から購入できます

部活等で不規則になり心配、早くやって欲しい-----最大限急いだ結果この日程です

歯磨きタイムもするのですか---週1回フッ化物口、残りの曜日に歯磨き週4回

中学校になってから歯がはえかわってきたので有難い

、歯に対しての感心が高まると思うので嬉しい-----それも狙いのひとつです

幼稚園での希望者割合はどれくらいですか-----9割くらいです

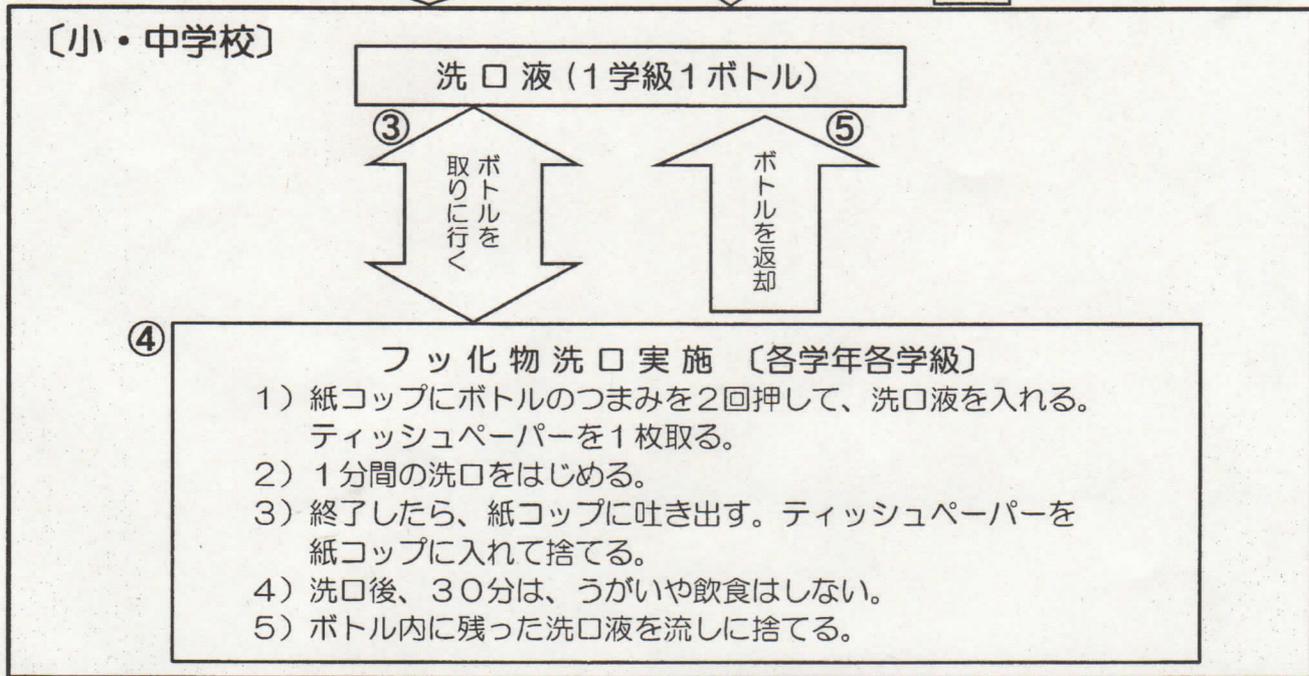
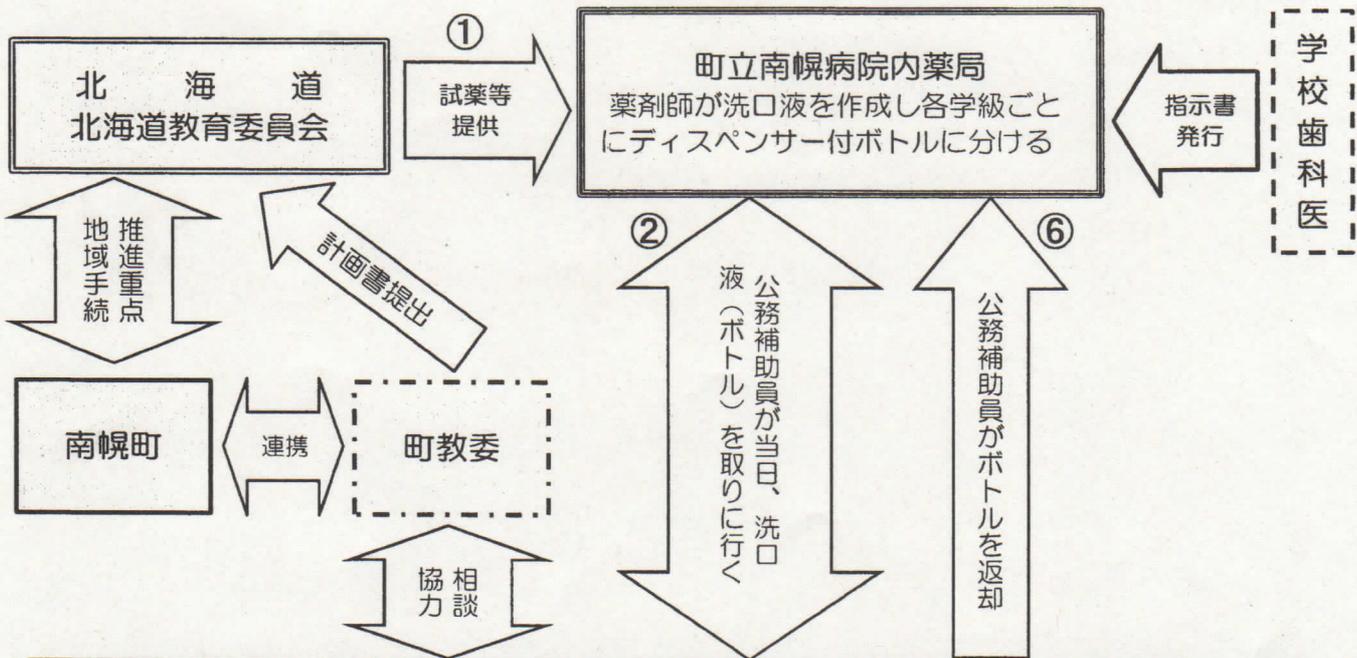
親が希望してもこっそり真水を選択しないか心配---注意して行われるので大丈夫です

中学校から開始の生徒は恥ずかしがるかもしれません（教育委員会から）





南幌小学校・中学校フッ化物洗口事業実施手順等（案）



**緊急対応時**

フッ化物洗口実施後、体調不良等も重なり様態が急変した場合の連絡対応体制

